

大豆管理情報 第1号

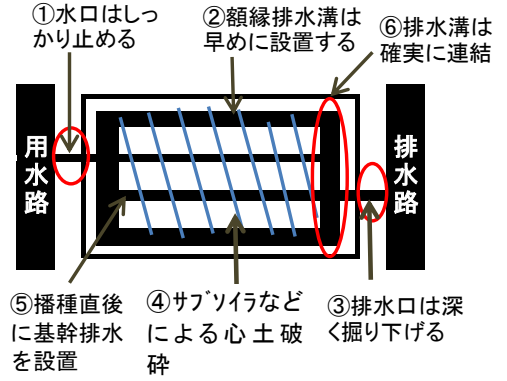
排水と播種量確保で苗立ちを安定！

1. 排水対策の確認

- ・排水溝の設置やサブソイラによる心土破碎がまだの方は、急ぎ実施し、ほ場内の排水に努めましょう。

2. 土づくり・基肥

- ・下表のアルカリ資材を施用し、土壌の酸度矯正をしましょう。
- ・堆肥や緑肥を施用しない場合は「発酵鶏糞」を施用しましょう。
- ・基肥は基準量が入るように機械の調整を行いましょう。



区分	資材名	10a当たり施用量
土壌改良資材 (pH矯正)	苦土石灰(粒)	100kg
土壌改良資材 (有機物施用)	発酵鶏糞	100~200kg
基肥	BB基肥084	単作:20kg、麦跡:30kg

3. 播種・種子防除

(1) 種子に薬剤を塗沫することで初期の病害虫を予防できます。

- ・クルザ-MAXXは塗沫後十分に乾燥させてから播種するか、塗沫時にを添加して下さい。

対象病害	薬剤名	塗沫量
虫害、紫斑病、茎疫病を予防	クルーザーMAXX	乾燥種子1kgに8mℓ

(2) 耕起、播種、作溝、除草剤散布の一連の作業は、ほ場が乾いた好天日を選び行いましょう。

- ・碎土率を高めるため、トラクターのスピード、ロータリーの回転数を調節しましょう。
- ・播種深さは3cmを目安としてください。

(3) 播種量は播種時期により異なります。下表を参考にして適正な栽植本数を確保して下さい。

品種	播種時期	栽植本数 (本/10a)	播種量 (kg/10a)	設定条件(条間80cmの場合)			播種粒数 (粒/m)
				目皿	スプロケット		
					目皿側	車輪側	
エンレイ	5月下旬~6月上旬	14,000~16,000	5.1~5.9	B-2	10~11	13	12~14
				B-22	14	9~10	
	6月中旬	16,000~18,000	5.9~6.6	B-2	9~10	14	14~17
				B-22	13	10	
シュウレイ	5月下旬~6月上旬	12,000~15,000	4.9~6.1	B-3	10~11	11	11~13
					11	13	
	6月中旬	15,000~18,000	6.1~7.3		10	13~14	13~17
					9	14	

※栽植本数が少なすぎると青立ちしやすくなります。

4. 除草剤

- ・除草剤は、播種後土壌が湿っている間に散布します。

薬剤名	散布時期	10a当たり施用量	効果のある草
ラクサー乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	500mℓ/水100ℓ (200倍)	一年生雑草(ツクサ除く)
トレファノサイド粒剤2.5	播種後発芽前	5~6kg	一年生雑草

注) トレファノサイドは、ツクサ、カヤツリグサ、キク科・アブラナ科の雑草には効果がありません。